

Discovery

June 2016 vol. 10



株式会社日吉



info@hiyoshi-es.co.jp

www.hiyoshi-es.co.jp/



沖島漁港棧橋設置工事竣工式

本社:〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908 TEL(0748)32-5111(代) FAX(0748)32-3339 / 東京支店:〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 TEL(03)5772-6073(代)

国内事業

沖島漁港棧橋設置工事竣工式 2016.2.28

琵琶湖最大の漁業町にして唯一の有人島である沖島の漁港棧橋工事が竣工しました。島の玄関として親しまれてきた旧棧橋は設置から30年を経過し老朽化が進行。棧橋の更新は沖島の振興において喫緊の課題とされ、近江八幡市や滋賀県、水産庁の協議により取り組みが実現しました。設置工事を落札した日吉では、平成27年3月18日～平成28年3月22日の工期で工事を進めました。

竣工式は滋賀県や近江八幡市、地域の関係各位にご臨席をいただき盛大に執り行われ、近江八幡市長富士谷氏より感謝状、そして沖島町離島振興推進協議会、茶谷会長より謝辞を賜りました。



滋賀産業新聞掲載



日吉から「沖島 願い鐘」を寄贈 2016.5.3

棧橋の完成を記念し、日吉から沖島へ「沖島 願い鐘」を寄贈。奥津島神社春季例大祭において披露されました。船の安全はもちろん琵琶湖の漁業存続や在来魚の復興さらには地域の重要な取り組みである「人が住み続ける沖島」成就への願いを託しています。島の新たなシンボルとして人々の心に響くことを願っています。

海外事業

日吉は「環境問題に国境はない」という考えのもと、海外進出への足掛かりとして80年代末から海外学生の受け入れや現地大学、研究機関との協定を進めてきました。その努力が実を結び、アジアの各国における水質改善というステージで日吉の技術が評価されるようになりました。

環境省アジア水改善モデル事業 2016.1.17～2016.1.24

ベトナム

「ベトナム国水産加工工場における排水処理の水質と施設運営の改善事業」継続決定！

平成26年度に環境省の採択を受けダナン市にて実施してきた水産加工排水処理の①クラゲール®導入による水質改善と②IoT技術*1を利用した維持管理のビジネスモデル検討事業について、今年度も事業継続の採択を受けました。

1年目のFS調査*2では現地の水環境と水産加工排水の実態を把握し、2年目はその結果をもとにクラゲール®による

有機汚濁物質除去の実証試験を行い、想定通りの良好な結果と現地関係者の好評価を得られました。最終年である今年は、ベトナムでのクラゲール®の販売やIoTを用いた維持管理ビジネスの実現化に向けた活動、さらに今後水質基準強化が見込まれるベトナム及びアジア各国への展開を想定して有機汚濁物質に加え窒素除去機能も追加した試験装置による実証試験の実施を予定しております。今後は、本事業での成果を生かしてベトナム及びアジア各国でのビジネス展開をめざします。

※1：通信技術 ※2：実行可能性調査(Feasibility Study)



広東省での日中協力文書交換およびワークショップに参加 2016.3.15～2016.3.18

広東省広州市において近畿経済産業局と広東省科学技術庁との間で日本企業の技術導入をより円滑にすすめるため、3月16日政府間協力文書が締結されました。また、日吉はTeamE-Kansai*の会員企業として参加し、広東省の企業と覚書を同日、締結しました。広東省の環境問題解決を目的として日中が共同でマッチングした協力案件の中から採択されたプロジェクトに対し、中国側が独自に設けた補助金を交付することが計画されています。

同時開催された「日中環境・省エネ技術ワークショップ」では、日吉を含む日本企業5社が技術プレゼンテーションを行い、中国側企業24社と商談会を行いました。日吉はケイラックス®(中国名：科樂世®)生物検定法を提案し、ビジネスの可能性を模索しました。



※関西・アジア環境・省エネビジネス交流推進フォーラム

インドで水処理事業拡大 2016.5.10

アジアを中心に26カ国6000人以上を受け入れてきた中、最も多いのがインドで154人に上ります。著しい経済成長と工業用水浄化技術へのニーズ拡大は不可分であると考え、2011年に現地法人を設立。以来、着実に事業を拡大しています。その思想や努力について紹介いただきました。



日本経済新聞掲載

人材育成



会社は社会に貢献しなければ存続できません。それを支えるのが日吉の環境技術です。当社の精神と技術を受け継ぐ人材の育成を通じ、世界のステージで活躍していきたいと考えています。



平成28年度入社式開催

2016.4.1

平成28年度入社式が執り行われました。今後は実践経験値を高める様々な機会を通じ、真に環境の未来に貢献できる日吉社員への成長を期待します。

社員の声から生まれた子育て支援体制

2016.5.12



京都新聞掲載

日吉では、妊娠・出産した社員が仕事を続けられるように時短勤務や在宅勤務、子どもの看護休暇を導入。2013年、子育てサポート企業として厚生労働大臣より「くるみん」の認定を受けました。



ヤングドライバー・交通運転教習

2016.4.13

新入社員一同が近江八幡自動車教習所においてヤングセーフティードライバー研修に参加。

学会発表



水質改善に働く技術の高度化をめざすには、それを取り巻く地球そのものの環境やエネルギーなど多岐にわたる知識が欠かせません。日吉では各種学会への参加を通じ、新しいヒントの収集や認識の更新に努めています。

第46回滋賀県公衆衛生学会参加

2016.2.21



公衆衛生学会は県下の公衆衛生関係者が一堂に会し、調査研究活動の成果を発表することで相互理解を深め、公衆衛生の向上に貢献することを目的としています。日吉は琵琶湖の水質改善をはじめとする4つのテーマを発表しました。

講演会場 コラボしが21(大津市)

演題	演者名
琵琶湖由来生物に対する数種無機化合物の急性毒性(1) —ダフニアブリカリア(ミジンコ)急性遊泳阻害試験—	松田 涼
琵琶湖由来生物に対する数種無機化合物の急性毒性(2) —ホンモロコ(魚類)急性遊泳阻害試験—	林 芳和
茶の残留農薬一斉分析における精製法の検討	中田 俊芳
レジオネラ属菌の検査における前処理法の検討	谷崎 三郎

第50回日本水環境学会年会で研究発表

2016.3.17

河川整備基金助成事業共同研究の一環として、滋賀県立大学の須戸幹教授および関東学院大学の鎌田素之准教授と共に平成26年度より実施している「水道水源における新たな監視対象農薬に関する検討」を発表。河川水から検出できるようになった農薬について報告しました。

講演会場 アスティとくしま(徳島県徳島市)

演題	演者名
水道水源における新たな監視対象農薬に関する検討	久保 明日香



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

インターンシップ



ベトナム人インターン生受入れ

ベトナム

2016.4.4 ~ 2016.4.14

日本の大学修士課程への進学をめざすベトナム人インターン生を受け入れました。日本、日吉での就業経験を将来活かしてもらいたいです。



HIDA※アフリカ研修生受入れ

2016.1.19

「アフリカ企業経営研修コース」のプログラムの一環としてアフリカ諸国の企業経営者や経営幹部ら19名が来社しました。



※HIDA: The Overseas Human Resources and Industry Development Associationの略 (一般財団法人海外産業人材育成協会)

海外

- HIDAアフリカ研修生受け入れ(アフリカ)
- 日越大学ベトナム人関係者の来社(ベトナム)

国内

- 高校生インターンシップ受け入れ 瀬田工業高等学校、八幡商業高等学校
- 「日本一の湖、琵琶湖に学ぶ環境と暮らし」講座で県内外の留学生在が訪問

表彰

技能検定委員として感謝状を賜る

2015.11.25

技能検定は働く人々の有する技能を一定の基準により検定する国家検定制度です。平成27年度滋賀県職業能力開発促進大会において、1級化学分析技能士である当社の岡尾康弘が永年勤続(5年)技能検定委員感謝状を賜りました。



- 用紙: 琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー 適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ: 大豆油インキを含む植物油インキ
- 印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造、廃棄に発生するCO₂を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済
- CO₂排出量: 169.874kg/3,000部